

在シドニー総領事通信

第 28 回 NSW 州と日本のビジネス拡大：シドニー大都市圏と地方部の新たな機会を生かす

令和 2 年（2020 年）11 月 13 日

11 月 4 日、ベレジクリアン NSW 州首相による日本企業向けのオンライン特別講演会「NSW 州と日本：将来に向けた協力」が日英同時通訳で開催され、日本と当地から約 200 名が参加しました。

本年 2 月に日本・東京商工会議所経済ミッションが当地を訪問した後、コロナの深刻化により日豪両国とも対応に追われ、往来も困難になりました。しかし 7 月末、NSW 州政府はエアーズ雇用・投資・観光・西シドニー担当大臣はじめ主要関係者が揃って登壇するビジネス・ウェビナーを日本向けに開催し、ハイレベルでの日・NSW 州間の対話が再開しました。

この流れを踏まえ、今度はベレジクリアン首相が自ら登壇して最新状況と今後の方針を日本企業に対して直接説明することで、強いラブコールを送りました。日本からは、三村日本・東京商工会議所会頭がビデオメッセージを寄せて、ベレジクリアン首相の熱意に応えました。私も準備段階から参画し、講演会でも最後に挨拶させていただきました。

今回の総領事通信では、このオンライン講演会の主要点や、今後のフォローアップに向けての関係者の取組について説明しながら、NSW 州と日本のビジネス拡大の方向性について、皆様と一緒に考えていきたいと思っております。



三村日豪経済委員会委員長／日本・東京商工会議所会頭
(2020年11月4日)

オンライン講演会の司会は、前回のウェビナーで基調講演を行ったエアーズ大臣が務めました。趣旨説明の後、日豪経済委員会委員長及び日本・東京商工会議所会頭を務める三村明夫氏からビデオメッセージがありました。

三村会頭は、最初に日豪経済合同委員会会議の歴史と本年2月の日本商工会議所経済ミッションの成果について説明しました。そして、コロナ危機で世界経済の早期回復が求められ、米中摩擦の激化している今こそ、日豪両国がより一層協力し、世界の安定に貢献していくことが重要であると訴えました。

更に、菅総理が9月の就任後初めて電話会談をしたのはモリソン首相であり、10月には日米豪印外相会談が東京で開催されたことも紹介し、NSW州と日本企業の間がオーストラリアにおける経済回復のロールモデルとなり雇用創出や経済成長をもたらすことへの期待を述べました。

シドニーの会場では、ベレジクリアン首相、エアーズ大臣とも、三村会頭のメッセージに耳を傾け深く頷いていました。また、司会のエアーズ大臣は直後に主要点を改めて述べ、賛同していました。



ベレジクリアン NSW 州首相
(2020 年 11 月 4 日)

引き続き、ベレジクリアン首相から基調講演がありました。ベレジクリアン首相は最初に、NSW 州はコロナ対応に成功しており、世界経済が流動的な中でも、安全性が高く経済成長が見込まれる投資先であると強調しました。その上で、①シドニー大都市圏の西部にある西シドニー空港都市、②中央部にあるウエストミッド医療教育地区、③そして東部にあるシドニーのテックセントラル地区、④州地方部の投資機会について、それぞれの開発の進捗状況や魅力を説明し、中長期的な発展が見込まれると述べました。

そして、日本企業がビジネスをしやすいように州政府として業務を一層効率化し最大限支援していきたい、フィードバックも大いに歓迎すると表明しました。更に、日本企業の NSW 州に対する信頼に感謝し、NSW 州にとっても日本は信頼できる友人、パートナー、投資家でもあると述べて、相互の信頼関係の重要性を確認しました。

最後に、11 月 17 日に NSW 州政府予算案を議会に提出する際は、企業が NSW 州で投資する際に得られる短期的・中期的なインセンティブも発表予定であると付言しました。



ベレジクリアン首相に質問するエアーズ大臣
(2020年11月4日)

今回のオンライン特別講演会の進行で特筆すべき点は、予め日本企業から関心事項を聴取して整理した上で、それをエアーズ大臣とベレジクリアン首相の質疑応答という形で説明したことです。

質問は全部で6項目ありました。具体的には、(1) NSW州のインフラ事業へのコロナの影響、(2) テックセントラル地区をはじめとするテクノロジー・イノベーション分野の取組、(3) ウエストミード医療教育地区での医療分野の取組、(4) 西シドニー空港都市での機会拡大、(5) 宇宙産業分野でNSW州が果たす役割、(6) 脱炭素社会への移行に向けてのエネルギー技術分野での取組について、ベレジクリアン首相はそれぞれ自らのことばで大きなビジョン、個別の政策、最新の進展、日本企業への期待などを丁寧に説明しました。

エアーズ大臣からは、各項目の質問に際して、世界的に活躍しNSW州でもビジネスにも参画している多くの日本企業の名前を具体的に挙げていました。NSW州として、各分野で世界水準の日本企業を是非誘致したいという強い気持ちの表われだと思えます。

また、この機会に、NSW州政府は駐日事務所を開設し、現在駐日オーストラリア大使館に配置している職員を3倍に増やすことも発表しました。



エアーズ大臣の司会のもと謝辞を述べる紀谷総領事
(2020年11月4日)

私からは謝辞 (Vote of Thanks) として、まず NSW 州首相が初めての特定国向けビジネス・ウェビナーの相手国として日本を選んだことに謝意を表明しました。また、日本の企業と日本・東京商工会議所の皆様に対しても、今回の出席に感謝するとともに、日本企業が技術と信頼性をあわせ持つからこそ選ばれたとお伝えしました。

そして、日本企業の皆様には、今回のオンライン特別講演会で何を学んだかを教えていただければありがたく、NSW 州と日本の双方向のコミュニケーションを促進していきたいと伝えました。今回、NSW 州と日本の官民によるバーチャル・プラットフォームが動き始めたので、今後これを柔軟かつ成果重視の形で運営していきたいと思っております。



西シドニー空港都市を視察中の高橋駐豪大使、
ヒル西部パークランド都市公社 CEO、ヒッキー西シドニー空港 CEO
(2020年11月9日)

このオンライン特別講演会の翌週の11月9日から11日まで、高橋礼一郎大使は8か月振りにシドニーを来訪し、西シドニー空港都市とウエストミード医療教育地区を視察するとともに、日本企業関係者との意見交換を行いました。

西シドニー空港の予定地周辺では大規模な整地作業が進んでいました。国際航空輸送はコロナの影響を大きく受けていますが、西シドニー空港の開港は2026年予定で相当先なので、準備の日程に変更はないとのことでした。また、ウエストミード医療教育地区は、先端医療のイノベーションの中心として、日本企業との協力を熱心な姿勢を感じました。

日本企業関係者からは、世界の多くの国・地域と異なりオーストラリアはコロナの影響をあまり受けていないこと、エネルギー分野など日豪連携の可能性は引き続き大きいこと、日豪間の官民双方での円滑な意思疎通が関係強化の鍵であることなどが指摘されました。



NSW 州関係省庁副次官級との意見交換（向かって左上から時計回りにロバーツ財務省グローバル局長、紀谷総領事、ヒル西部パークランド都市公社 CEO、ブラウン首相・内閣府副次官、ハンター保健省副次官、カーテン財務省副次官
(2020 年 11 月 10 日)

また、11 月 10 日には、NSW 州政府の首相・内閣府、財務省、保健省、シドニー大都市圏担当部局の副次官級と早速意見交換の場を持ちました。

私からは、NSW 州政府の日本とのビジネス関係強化に向けての積極姿勢に謝意を伝えるとともに、ベレジクリアン首相のオンライン特別講演会に対する日本企業の評価や更なる要望を伝えました。NSW 州政府側からは、フィードバックを踏まえて具体的な取組を更に進めていきたいとの応答があり、大変心強く思いました。

今後、NSW 州政府とともに、調達手続や各開発地区に関するウェビナーの開催、NSW 州政府や豪州企業と日本企業の対話の支援などを進めていく考えです。



JETRO オーストラリア主催の日豪スタートアップ・ウェビナー第4回資料
(2020年11月10日)

これと並行して、スタートアップとイノベーションの取組も進んでいます。日本貿易振興機構 (JETRO) と豪州貿易投資促進庁 (Austrade) は本年1月に覚書 (MoU) を締結し、スタートアップとイノベーションについての連携が新たに合意されました。8月にはウェビナーシリーズを開始し、日豪が主導するイノベーション・エコシステムをシドニーで立ち上げる構想が具体化しつつあります。これまでのウェビナーシリーズの動画と資料は、JETRO オーストラリアのウェブサイトにて全て掲載されています。

私が着任した約1年前、西シドニー開発は現地の展示施設が開所するなど目に見える形で動き始めました。その後、NSW州ではシドニー大都市圏や地方も含めて開発対象が拡大し、日本からの参画も、当初の4 MoU パートナー企業・団体から、本年2月の経済ミッションや今回のオンライン特別講演会に参加いただいた多くの企業に広がりました。

日本には技術と信頼性が、そして NSW 州には拡大するビジネス機会と豊富な資源があります。この両者を組み合わせることで、日本と NSW 州・オーストラリアの双方の利益となり、更には温室ガス排出削減をはじめ世界全体のために役立てることができます。このパートナーシップを、皆様と一緒に、私もシドニーから推進していきたいと思えます。

オンライン特別講演会「NSW州と日本：将来に向けた協力」概要（当館 HP）
https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/20201104webinar.html

オンライン講演会動画（NSW州政府グローバル NSW）
<https://global.nsw.gov.au/nsw-japan-webinar>

NSW州駐日貿易投資事務所の設置と職員の増員（英語）
<https://www.nsw.gov.au/media-releases/global-nsw-to-triple-presence-japan>

豪州貿易投資促進庁（Austrade）と日本貿易振興機構（JETRO）の覚書締結（2020年1月10日）（JETRO）
<https://www.jetro.go.jp/news/releases/2020/23656e85cc8f14d3.html>

JETRO シドニー事務所主催日豪スタートアップ・ウェビナーシリーズ（英語）
<https://www.jetro.go.jp/australia/invest/webinars.html>

西シドニー開発：日本企業への高い期待（総領事通信第6回）
https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/about_consul_generals_newsletter_archive_no6.html

オーストラリアの雇用創出計画－日本企業にとっての新たな機会（総領事通信第18回）
https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/CGKiya_18newsJ.pdf

日本企業の強みをオーストラリアから世界に生かす：NSW州におけるビジネスの最新動向（総領事通信第21回）
https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/CGKiya_21newsJ.pdf

（以上）